

総合講演・報告3（東海大学）

IAEA 国際安全基準

The IAEA Safety Standards

IAEA の安全基準と安全基準情報プラットフォーム

The IAEA Safety Standards and NSS-OUI

ドミニク デラットレ¹¹IAEA

IAEA 国際安全基準の現状と展望

IAEAの国際安全基準について、全体的な枠組みと東京電力福島第一原子力発電所の事故に関する国際安全基準に見直しについて解説する。

IAEAの国際安全基準の全体的な枠組みについては、歴史的な発展の状況、位置付け、分類と全体の構成等の現況とともに、IAEA国際安全基準のビジョンとそれを達成するための基本戦略、基準の開発手順について解説する。

東京電力福島第一原子力発電所の事故に関する国際安全基準に見直しについては、閣僚会議（2011年6月）を踏まえた「原子力安全に関する行動計画」について解説する。その行動計画の一環として、次のようなIAEA国際安全基準の見直しの状況について解説する。

- ・「安全に対する行政と規制上の枠組み」(GSR Part1)
- ・「安全のためのリーダーシップとマネジメント」(DS456 GSR Part2)
- ・「原子力発電所の安全 設計と建設」(SSR-2/1)
- ・「原子力発電所の安全 試運転と運転」(SSR-2/2)
- ・「施設と活動に対する安全評価」(GSR Part4)
- ・「原子力施設のためのサイト評価」(NS-R-3)
- ・「原子力災害への準備と対応」(GS-R-2)

例えば、「原子力発電所の安全 設計と建設」(SSR-2/1)については、①公衆と環境に許容できない放射線の影響の防止を強化する、②シビアアクシデントを緩和し、長期的なオフサイトの汚染を回避する、③レベル4の深層防護、外部ハザードの考慮、さらに十分な余裕を強化することを含めて、プラント設計ベースを強化し、シビアアクシデントを防止する、④最終的なヒートシンクの信頼性を高める。⑤非常用電源システムを確保する、⑥燃料の露出を防ぐための燃料貯蔵の安全を確保する、⑦緊急時対応施設を確保する、ことなどについての取組みがなされている状況を解説する。

また、合わせて追加ガイダンスの必要性等についても解説する。

DELATTRE, Dominique Jules¹

¹IAEA: International Atomic Energy Agency